

# セルフフェイスコート プラスチック部への塗布方法

2013年7月12日

Rev.1



適用材料: 下地処理剤 BS300 + プラ

## 1. 塗布方法

- (1) 予め、塗布する面の汚れ等を除去して、表面を脱脂してください。
- (2) 塗布面に水分がない事を確認してください。
- (3) 塗布面に下地処理剤を塗布してください。(10~25cc/1㎡)
- (4) 塗布方法は、スプレー又は刷毛、ディッピング、スピンコート等各種の加工方法がご利用いただけますので、アルコール溶剤が使用可能な設備で塗布してください。
- (5) BS300: 加熱 60°C~80°C 20~30分 又は 自然乾燥 12時間以上 (20°C 雰囲気)  
加熱乾燥前に、予備乾燥として常温~40°Cで 5~10分程行ってからゆっくりと加熱してください。
- (6) 下地処理剤が乾燥後、各種上塗りのセルフフェイスコートを塗布してください。  
(10~25cc/1㎡)  
ポリカーボネート以外: プラ(Tタイプ)、ポリカーボネート: プラ(PTタイプ)
- (7) 低温加熱 60°C~80°C で 15~30分 又は 自然乾燥 4時間以上 (20°C 雰囲気) の乾燥をさせていただきます。(自然乾燥は出来れば、12時間以上)
- (8) 重ね塗りすることで、親水性の効果が高くなります。

## 2. 作業時、作業後の注意点

- (1) 鏡面のプラスチック面などの場合には、密着性の低下が見受けられる場合がありますので、表面を荒らす事で下地処理剤の密着性が向上します。
- (2) 素材によって強い摩擦がある場所では使用方法によって剥離する恐れがありますので、耐久性に関する試験等を実施後ご採用の判断をお願い致します。
- (3) PE、PP に対してへの密着力は低くなっておりますので、ご利用前にご確認ください。